

500人が集った 毛倉野祭り



5月12、13日に「こらっしえ毛倉野祭り2012」が開催されました。大雨の中で行われた昨年とは打って変わって、今年は晴天に恵まれ、



photos/kerjro nakano

ツリークライミングや丸太切り競争も開催

南上新聞

月刊 みなみかみしんぶん

平成24年 水無月 6月

伊豆から世界に発信する 南上新聞

県道121号線市瀬区間 道路拡幅に向け 調査事業に着手

南上地区の中央を横断する県道121号線(南伊豆松崎線)の市瀬エリアにお

若き南上人が上小野に移住

今年4月より東京大学樹芸研究所に勤務する小林徹行さん(24歳)が、上小野に移住してきました。山や森が好きという小林さんは、大学時代に森林生態学を専攻し、樹木に通。青野の演習林ではユーカリやクスノキなど一般的な林業樹種とは異なる樹木の研究に携わっています。



また獣害問題を把握するため、センサーカメラを使用した野生動物調査も担

いて道路拡幅事業に着手することが決定しました。一車線区間における自動車のすれ違いを円滑にするための待避所が設置されます。本年度はまず拡幅工事に向けての調査がスタート。完成するはまだまだ先のことです

両日でのべ500人以上が南伊豆町内や全国から毛倉野に集結。丸太切り競争や

ロープを使って木登りをするツリークライミングを企画したり、みんなで餅つきをしてつきたての餅を振る舞ったりと、ただの音楽イベントではなく、地域性に富んだ個性的な催しとなりました。「若い人達からたくさん元気

をもらいました」と嬉しそうに語る近隣のおばあちゃん。おじいちゃん、おばあちゃんから赤ちゃんまで、まさに老若男女の多彩な顔ぶれで、さらには下小野のヤギ牧場からヤギも駆けつけるといふ賑やかなお祭りでした。

が、最終的には5カ所の待避所が設けられる予定です。しかし、通行がスムーズにならなからといってスピードの出し過ぎは厳禁。いままでも通りゆとりのある譲り合いのマナーで、安全運転を心掛けましょう。



蔵し

写真/岩間史朗

平戸 山田邸(上の屋)

先祖が近くの石切丁場から切り出したという伊豆石と、立体的に施された白い漆喰のコントラストが鮮やかに映えた石蔵。二階の窓には建造当初に葺かれた天神原産の瓦がいまなお健在で、造りの良さと堅牢ささうかがわされている。かつては米蔵として使い、20俵以上の米を貯蔵していた。養蚕が盛んな頃は、母屋は蚕に譲り「蔵のなかに寝泊まりすることもあった」のだとか。米や家財道具に、そして人まで。暮らしに関わるすべてを受け入れる懐の広い蔵。この家で生まれ育った山田一夫さんにとっても、向かいの家で生まれ、嫁いできた淑子さんにとっても、生まれたときからここにある普遍的な存在。「我が家のシンボル」というこの蔵は、ふたりの笑顔に負けない輝きを放っている。

2012 JUN

蔵のある暮らし

vol.03

古民家再生から新築まで 風土に根ざした住まい造り

有限会社 平井工務店

南伊豆町下小野483-3 ☎0558-62-4480

生産・直売 さとう 温泉メロン

Tel&Fax:0558-62-3978

静岡県賀茂郡南伊豆町加納646

www.minami-izu.net/melon

森への入口

自家製天然酵母の薪窯パン

毎週土曜日 10:00~17:00

南伊豆町天神原2715-11 ☎0558-64-8171